

新撰地誌

岡村增太郎編纂
 訂正
 三

呂
 2
 3

10



門 2
卷 3



岡村增太郎編纂

新撰地誌

卷之三

明治二十年六月十七日
文部省檢定濟小學校教科書

文學社



才三



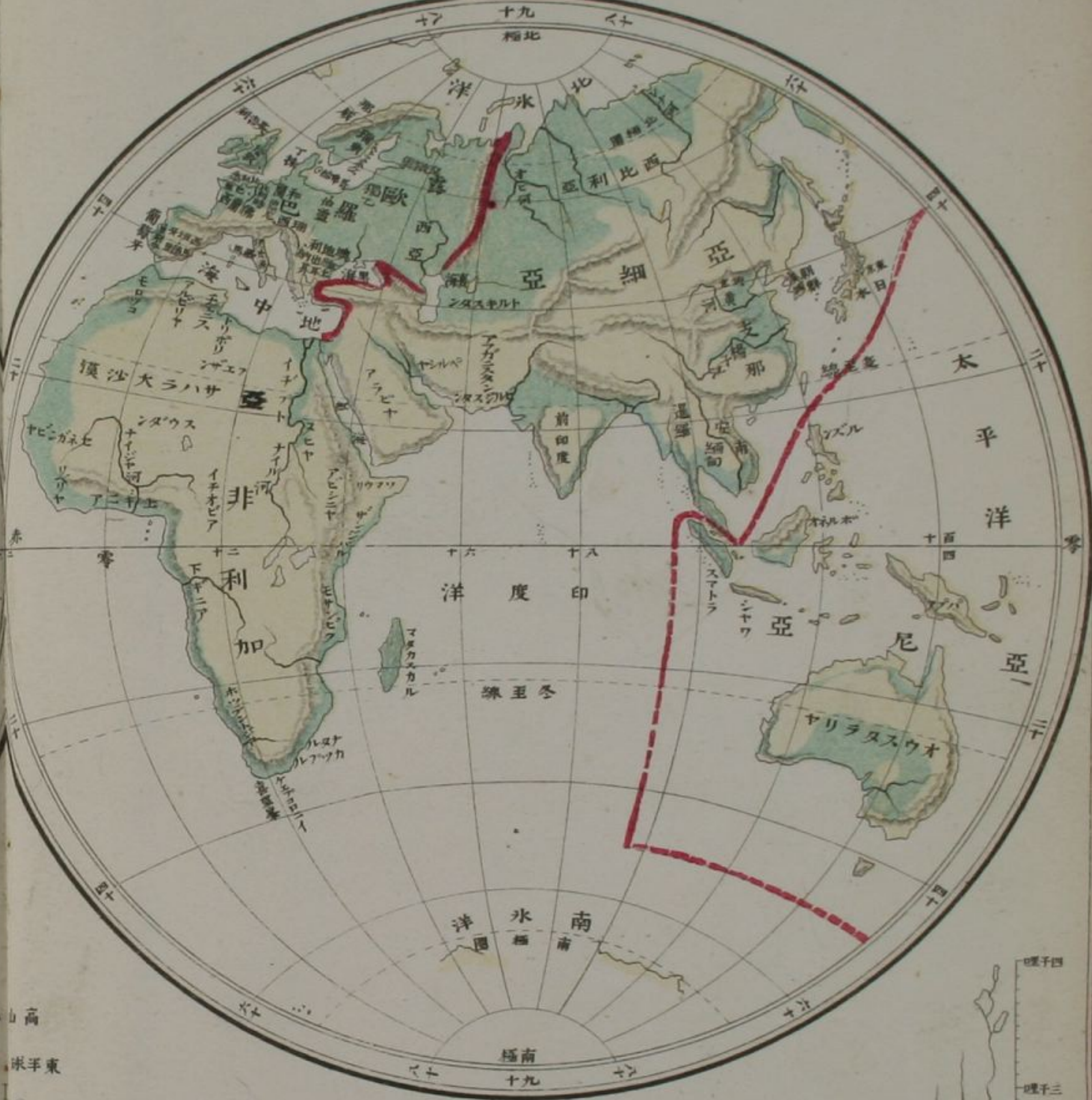
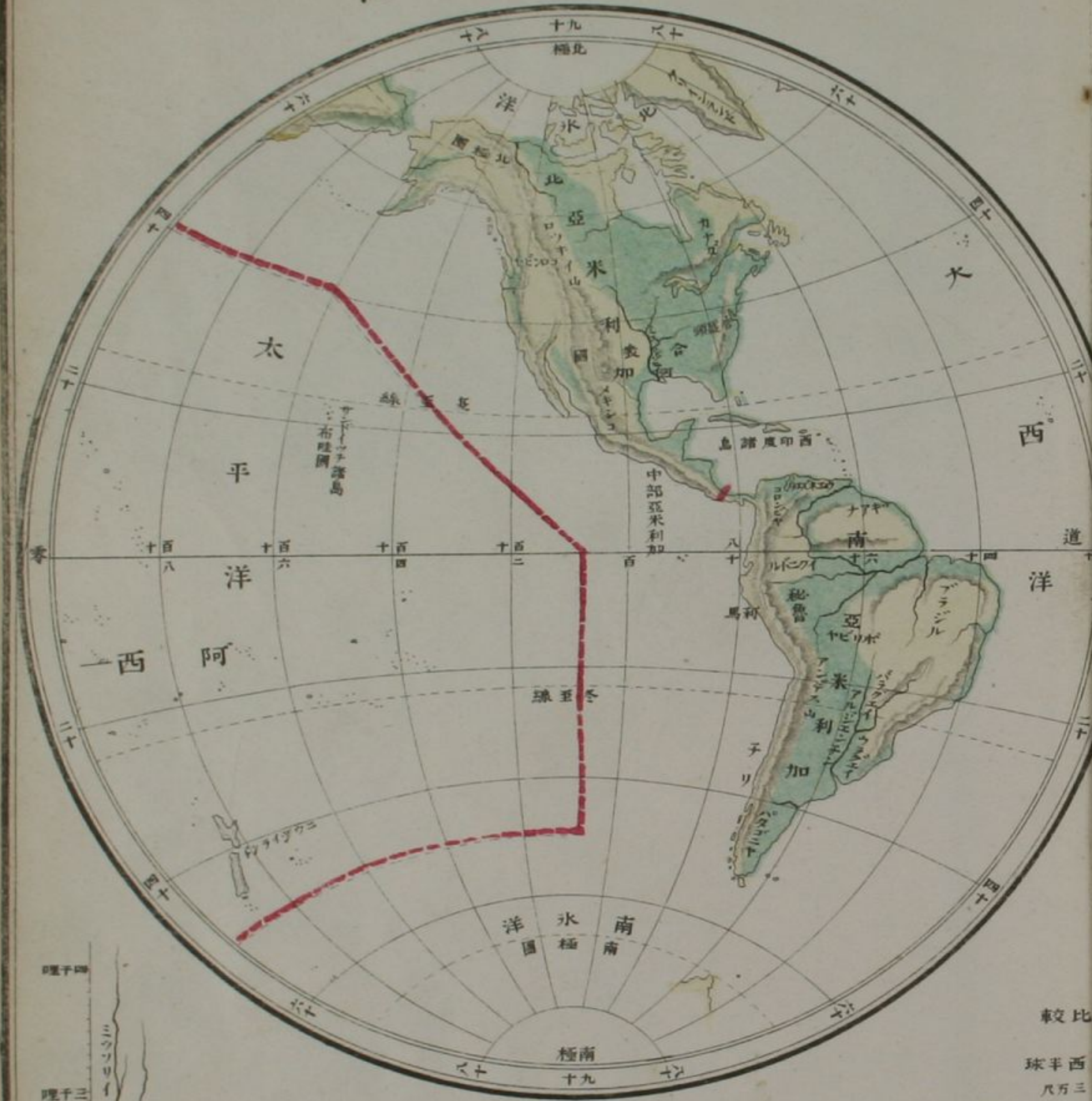
阿林世本平論纂

平論纂

卷之三

球半西

球半東



哩千四
哩千三
哩千二
哩千一

西海



西海

哩千四
哩千三
哩千二
哩千一

東海

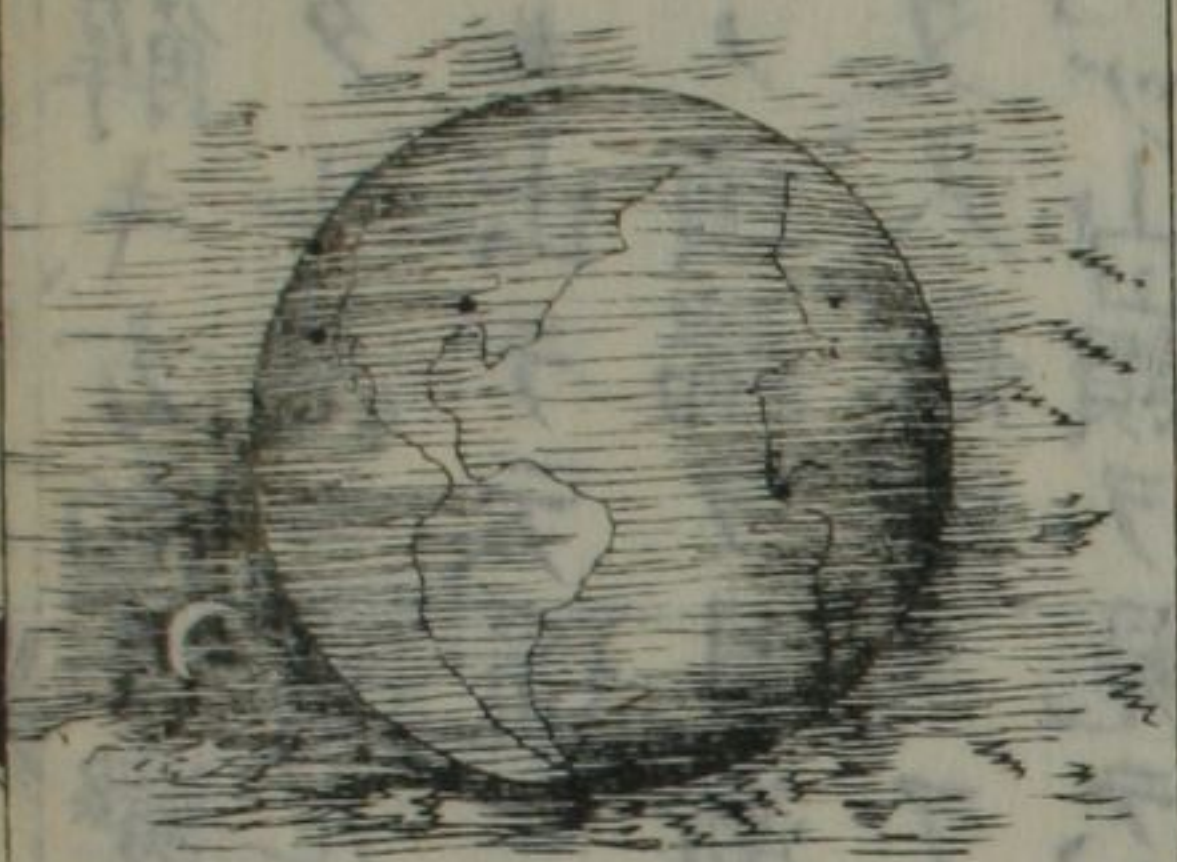
第三篇萬國誌

第一章 總論

第一課 地球

地ノ形ハ圓クシテ、恰球ノ如シ、故ニ之ヲ地球ト

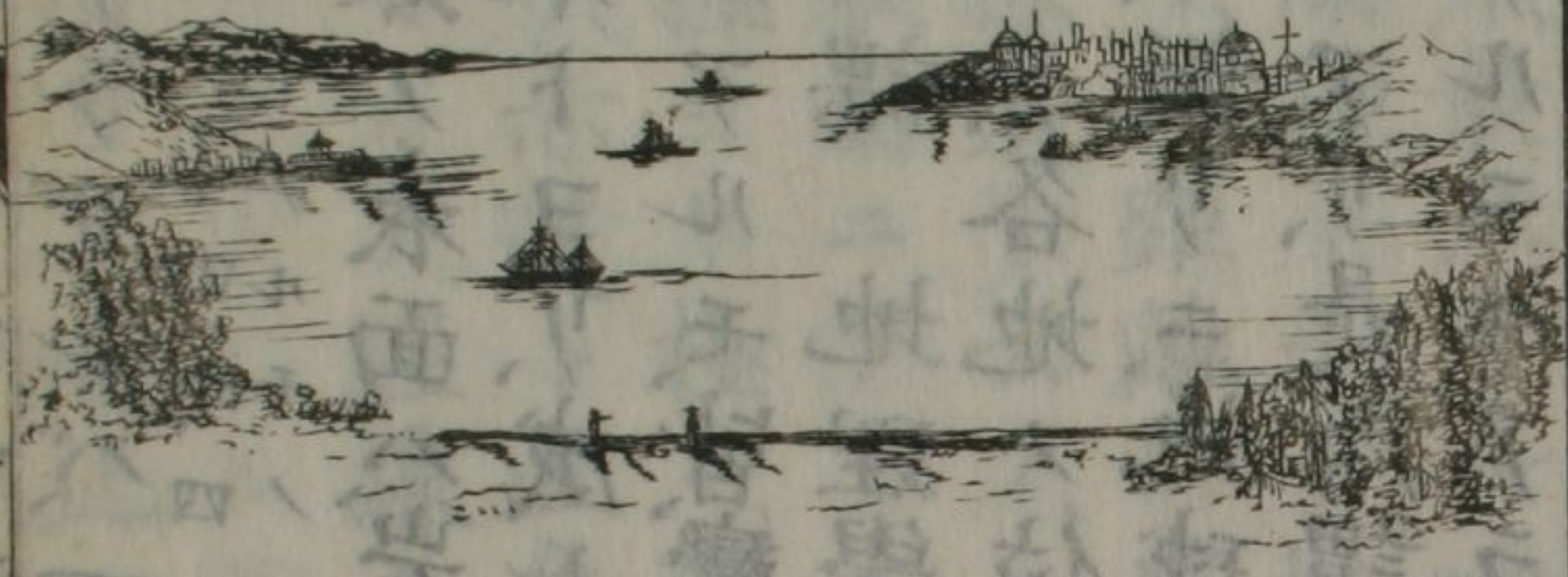
地球



云フ、地球ノ全體極メテ大ナルニ
ヨリ、余等常ニ其形ノ圓クシ
テ、球ノ如キヲ見ルコト難シ
ト雖、今海ヲ航スルモノアリ
テ、或ハ東、或ハ西ニ向ヒテ、纜

ヲ解キ、方向ヲ變ゼズ、一直ニ進メバ、終ニハ發程
 シタル港ニ、還ルコトヲ得ベシ、又、晴レタル日、海
 岸ニ出テテ、遙ニ船ノ來ルヲ望メバ、始メ僅ニ帆
 檣ノ頂端ヲ見、漸近クニ從ヒテ、船身ヲ見ルニ至
 ル、又、人、船中ニアリテ、入港スルトキ、陸地ヲ望メ
 バ、先ヅ山巔ヲ見テ、漸次ニ山腹、又、山麓ヲ見ルナリ、又、
 月ノ蝕スルハ、地球ノ影ノ、月面ヲ蔽フモノナル
 ガ故ニ、若地球ノ形方ナレバ、其影モ亦方ナルベ
 キニ、其月面ヲ蔽フ所ノ影圓シ、是等ノ數例ヲ以
 テ考フレバ、地球、即、余等ノ住居スル世界ハ、其形

海面隆起之圖



橙ノ如ク圓キコト明ナ
 リ、又地球ノ大ナルコトハ
 實ニ驚クベキ程ノモノ
 ニテ、其周圍ハ、凡二萬五
 千哩、直徑ハ、凡八千哩、面
 積ハ、凡一億九千七百萬
 方哩アリ、汝等、一日二十
 哩ヅツ歩ミテ、之ヲ回ル
 トスルモ、殆、七年ノ月日

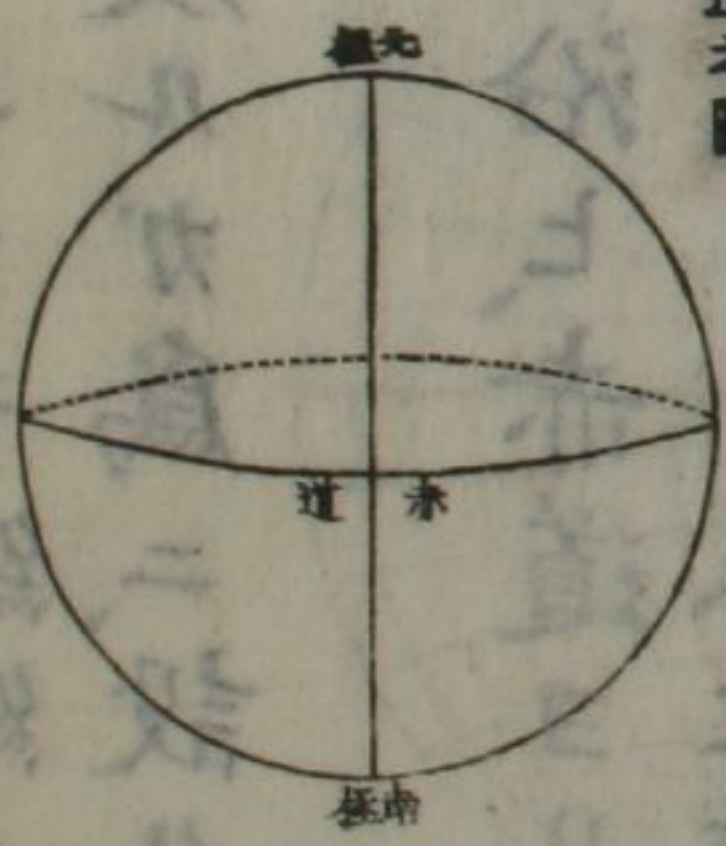
ヲ、費スニアラザレバ、一周スルコト能ハザルベシ、
哩ハ我邦ノ十四町四十三間一尺三寸六分ニ相當ス以下里トアルモノハ皆哩ヲ以テ算フベシ
 而シテ、地球ノ表面ハ、岩石、砂土ノ固形物、即陸ト
 流動物、即水トヨリ、成レルモノニシテ、表面ノ一
 部ハ、何レニアルモ、皆彎曲弓形ヲナスモノナリ、

第二課 地理學上ノ位置

地理學上ニテ、各地ノ位置ヲ、精密ニ指示スルノ
 便宜ヲ圖リ、假リニ、地球ノ表面ニ、數種ノ圈線ヲ、
 畫スルコトアリ、是所謂、虛線ニシテ、地球上ニ眞
 ニ、此ノ線アルニハアラザルナリ、

地球表面中、最北ナル一點ヲ、北極ト云ヒ、最南ナル
 一點ヲ、南極ト云フ、地球ノ表面ニ、沿ヒ、南極及
 ビ北極ヨリ、同距離ノ處ニテ、東西ニ、地球ヲ一周
 セル線ヲ、赤道ト云フ、
 又、地球ノ表面ニアリテ、赤道ニ平行セル線ヲ、緯
 線ト云ヒ、極ヨリ極ニ、畫
 ケル線ニテ、赤道ト直角
 ヲナセルモノヲ、經線ト
 云フ、
 緯線ハ、赤道ヨリ南北ノ

南北極及赤道之圖

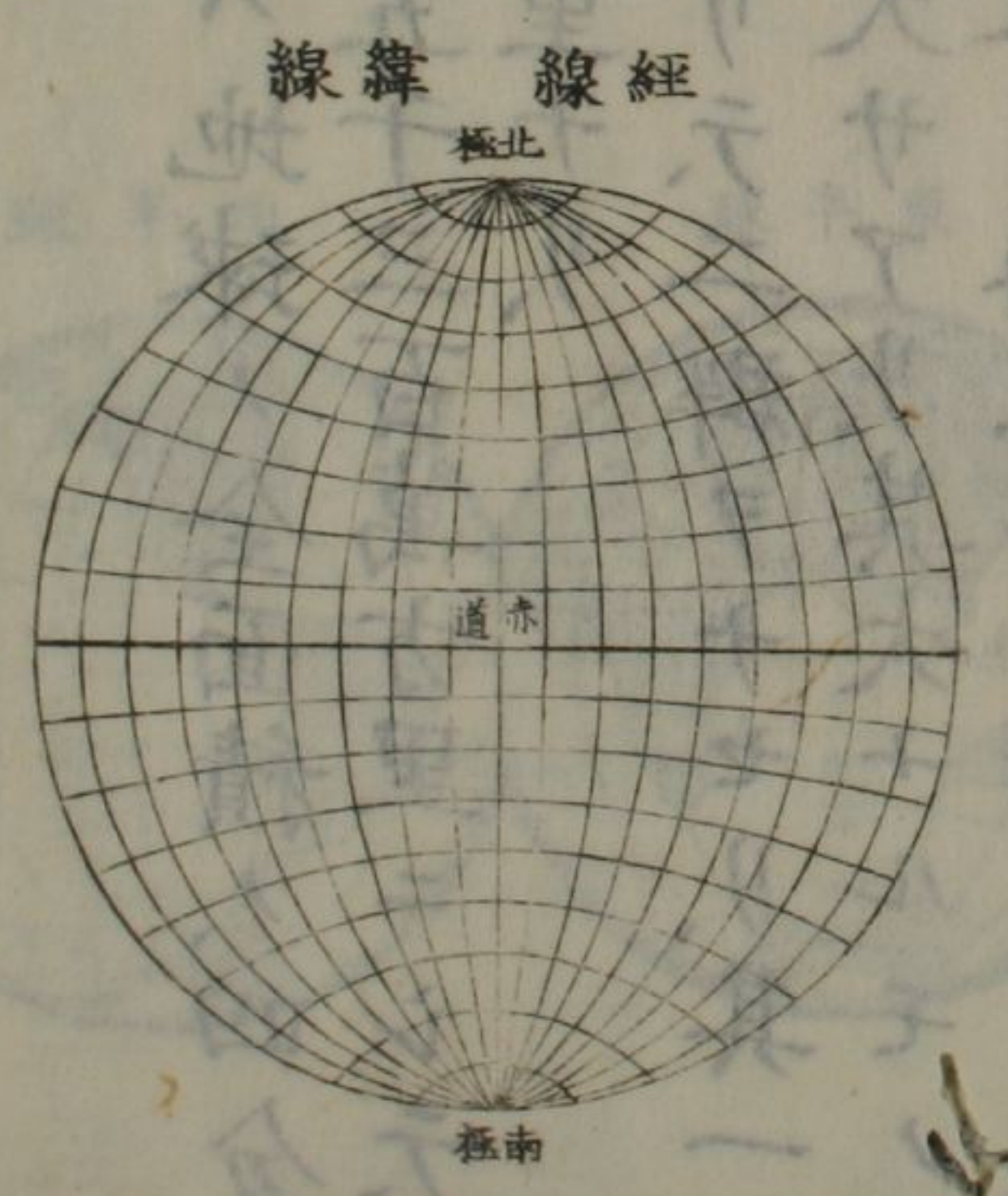


距離ヲ度ルガ爲ニ、設クルモノニシテ、經線ハ地球ノ一處ヨリ、東西ノ距離ヲ度ルガ爲ニ、設クルモノナリ、

而シテ、緯線ヲ計ルニハ、經線ニ沿ヒ、赤道ヨリ兩極ニ向ヒ算フルナリ、北極ニ向フトキハ、北緯幾度ト云ヒ、南極ニ向フトキハ、南緯幾度ト云フ、南緯共ニ九十度ニ至ル、

又經線ヲ計ルニハ、自然ノ定リナキヲ以テ、一方ヲ經過スル經線ヲ以テ、基トナシ、東西ニ算フルナリ、其線ヨリ、東ニ向フトキハ、東經幾度ト云

ヒ、西ニ向フトキハ、西經幾度ト云フ、我が日本ニテハ、東京ヲ經過スル經線ヲ基トシテ、之ヲ算フルコトアレドモ、通常英吉利國ぐりにつちナル司天臺ヲ本位トシテ算フルナリ、經線ハ、東西共ニ百八十度ニ至ル、地球ノ兩極ヲ經過シ、兩

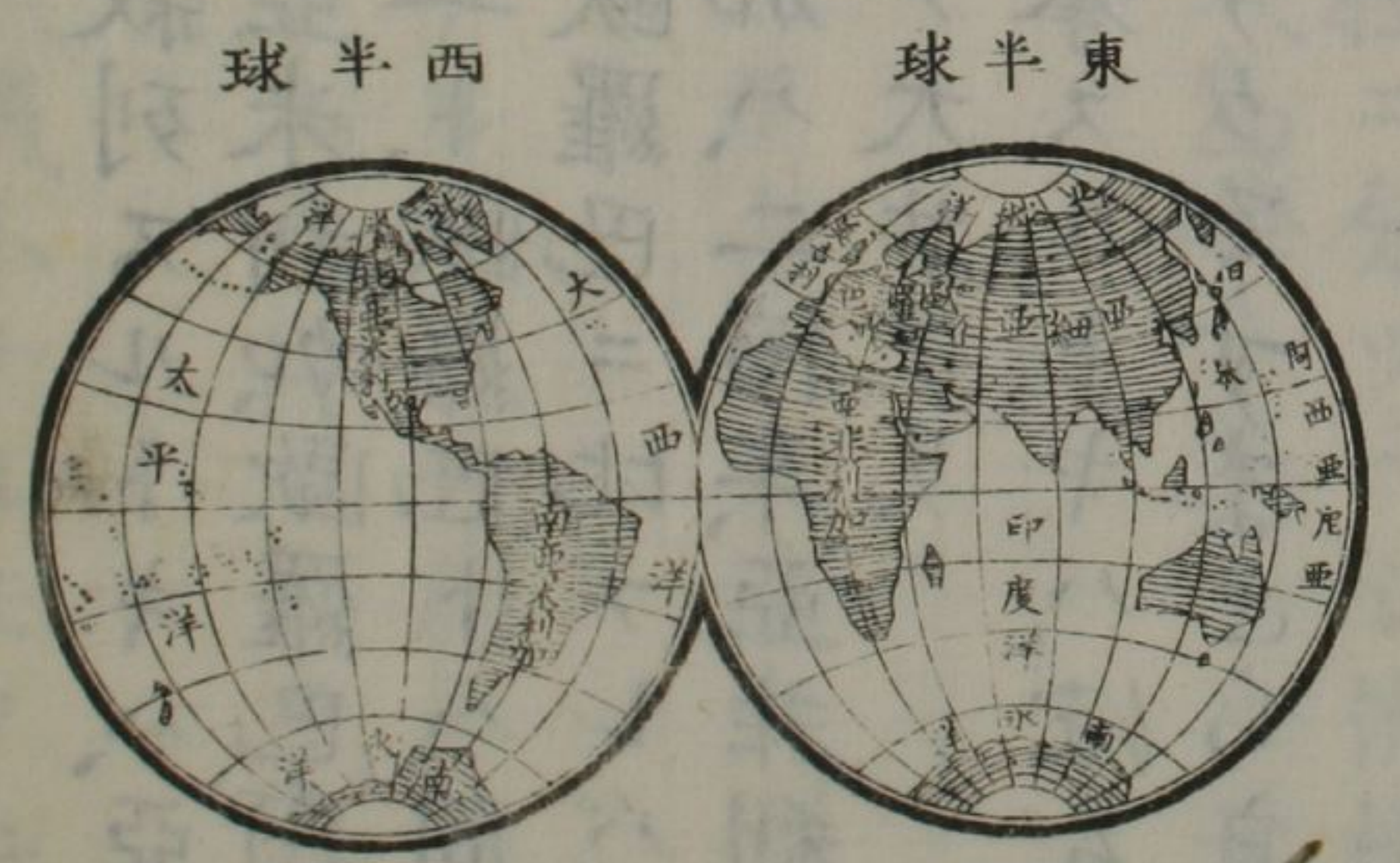


個、同じ大サニ分割スル一線ヲ、畫スルトキハ、其
 一半ヲ、東半球ト云ヒ、他ノ一半ヲ、西半球ト云フ、

第三課 陸

地球表面ノ固形部、即陸ハ地球ノ全面積ノ四分
 ノ一ニ過ギズ、其面積ハ、五千三百萬方里ニシテ、
 水ハ、一億四千四百萬方里ナリ、
 陸ハ、地球ノ兩半球ニ集リテ、二群ヲナセリ、其一
 ハ、他ニ比ベテ、殆、二倍ノ大サアリ、其大ナルモ
 ハ、東半球ニアリテ、舊世界ト稱シ、小ナルモノハ、
 西半球ニアリテ、新世界ト稱ス、

地球ノ陸ハ、六個ノ大洲
 ト、數多ノ嶋嶼トヨリ成
 レリ、大洲ト嶋嶼トノ區
 別ハ、其大小ニヨルノミ
 ナラズ、亦其構成ニヨリ
 テ、定ムルモノナリ、大洲
 ハ、兩高地ト、中央低地ト
 ヲ有シ、嶋嶼ハ、斯ノ如キ
 モノナク、唯、山脉高原ノ
 頂部、陸トナリテ、水面上



新撰地誌 卷之三

二、出デタルモノナリ、

大洲ヲ大小ノ順序ニ從ヒ、叙列スルトキハ、亞細亞、亞非利加、北亞米利加、南亞米利加、歐羅巴、阿西亞、尼亞ナリ、阿西亞、尼亞ト、歐羅巴トハ、同ジ大サニシテ、其他ノ四洲ヲ、歐羅巴ニ比ブレバ、南亞米利加ハ、二倍、北亞米利加ハ、二倍半、亞非利加ハ、三倍餘、亞細亞ハ、四倍半ノ大サアリ、

嶋嶼ヲ、大小ノ順ニ從ヒ、列擧スルトキハ、倭、琉球、を、に、ゆ、う、ぎ、に、い、ま、だ、が、す、り、る、す、ま、と、ら、自、本、等、ナリ、

島嶼ハ、其位置ニヨリテ、二種ニ分ツベシ、洲嶋、洋嶋、是ナリ、又、其何レニ關セズ、島嶼ノ集レルモノヲ、群島ト云フ、

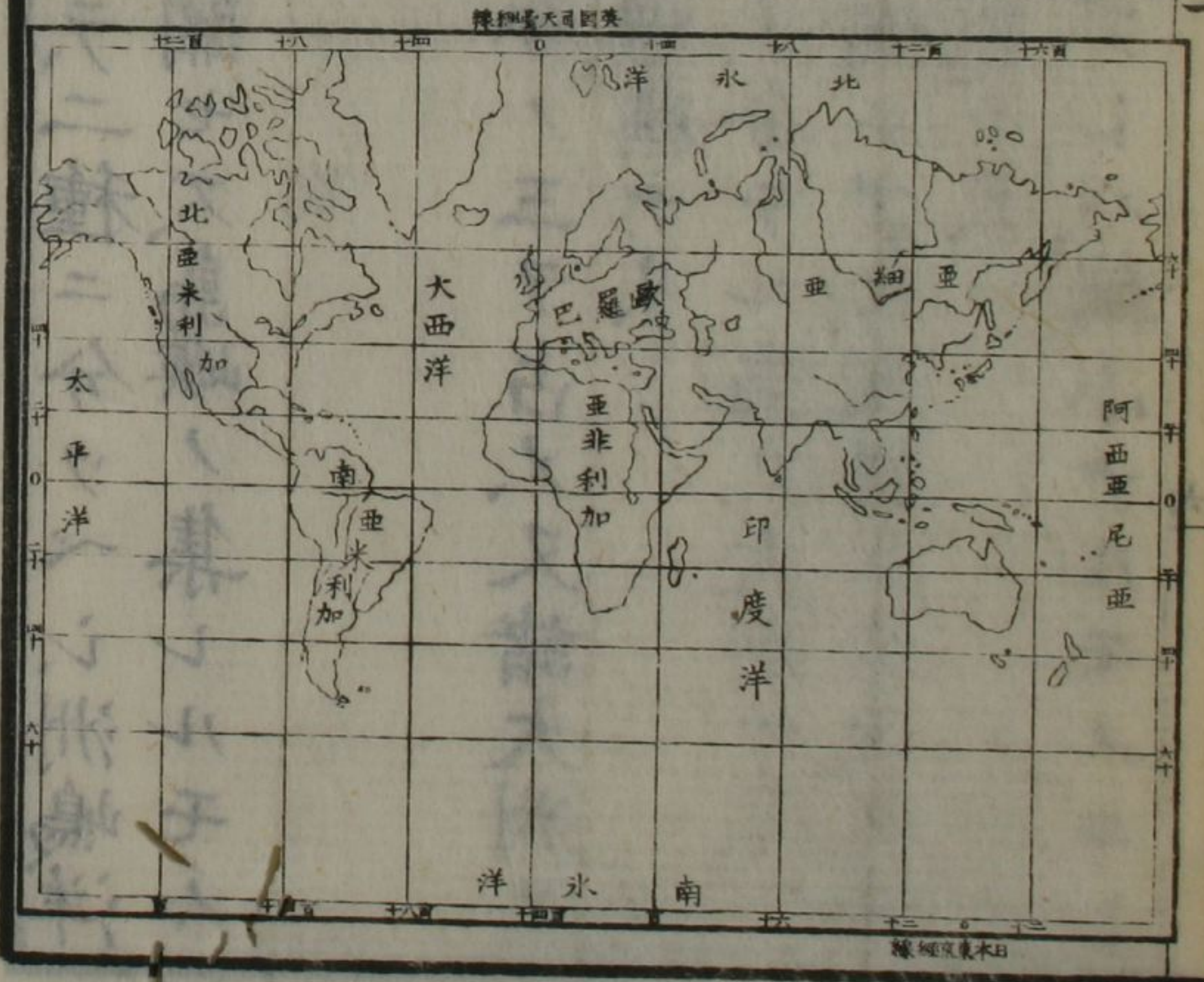
第四課 水

海ハ、地球表面ノ殆、四分ノ三ヲ占メ、又諸大洲ヲ繞レル、廣大ナル、水ノ總稱ナリ、

大洋ハ、諸大洲ニヨリテ、分テル海ハ、大別ナリ、三大、大洋ハ、三大洲ノ間ニアル、太平洋ニシテ、太平洋、大西洋、及ビ、印度洋、是ナリ、

二小、大洋ハ、前者ニ比ブレバ、稍小ナルモノニシ

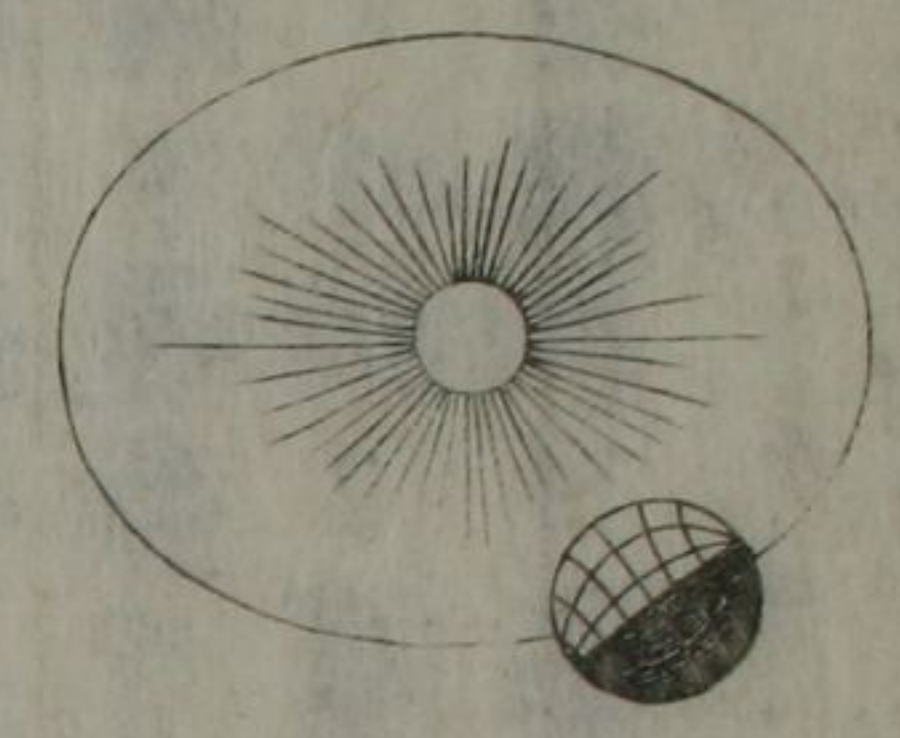
テ、通常、大洋ト稱ス、諸大洲ノ北ニアリテ、北極ノ周圍ニアル、北氷洋及ビ、南極ノ周圍ニアル、南氷洋是ナリ、洋動トハ、海水ノ常ニ運動スルヲ云フ、其運動ハ、通常、波濤、潮汐、及ビ、洋流ノ三種トス、



第五課 地球ノ旋轉

太陽ハ、日々、東ヨリ、出デテ、西ニ隱ル、汝等之ヲ見テ、太陽ハ、我が地球ノ周圍ヲ、旋レルモノトセ、然レドモ、其實ハ、否ラズ、我が地球コソ、太陽ノ周圍ヲ、旋リ、又自西ヨリ、東ニ轉ズルモノニシテ、即、二種ノ運動アリ、地球ノ中心ヲ貫キテ、兩極ニ達スル、直線ヲ設ケ、コレヲ地軸ト名ク、其兩端ハ、即、北極、及ビ、南極ナリ、地球ハ、此地軸ヲ心トシ、西ヨリ、東ニ向ヒテ、運

地球之旋轉

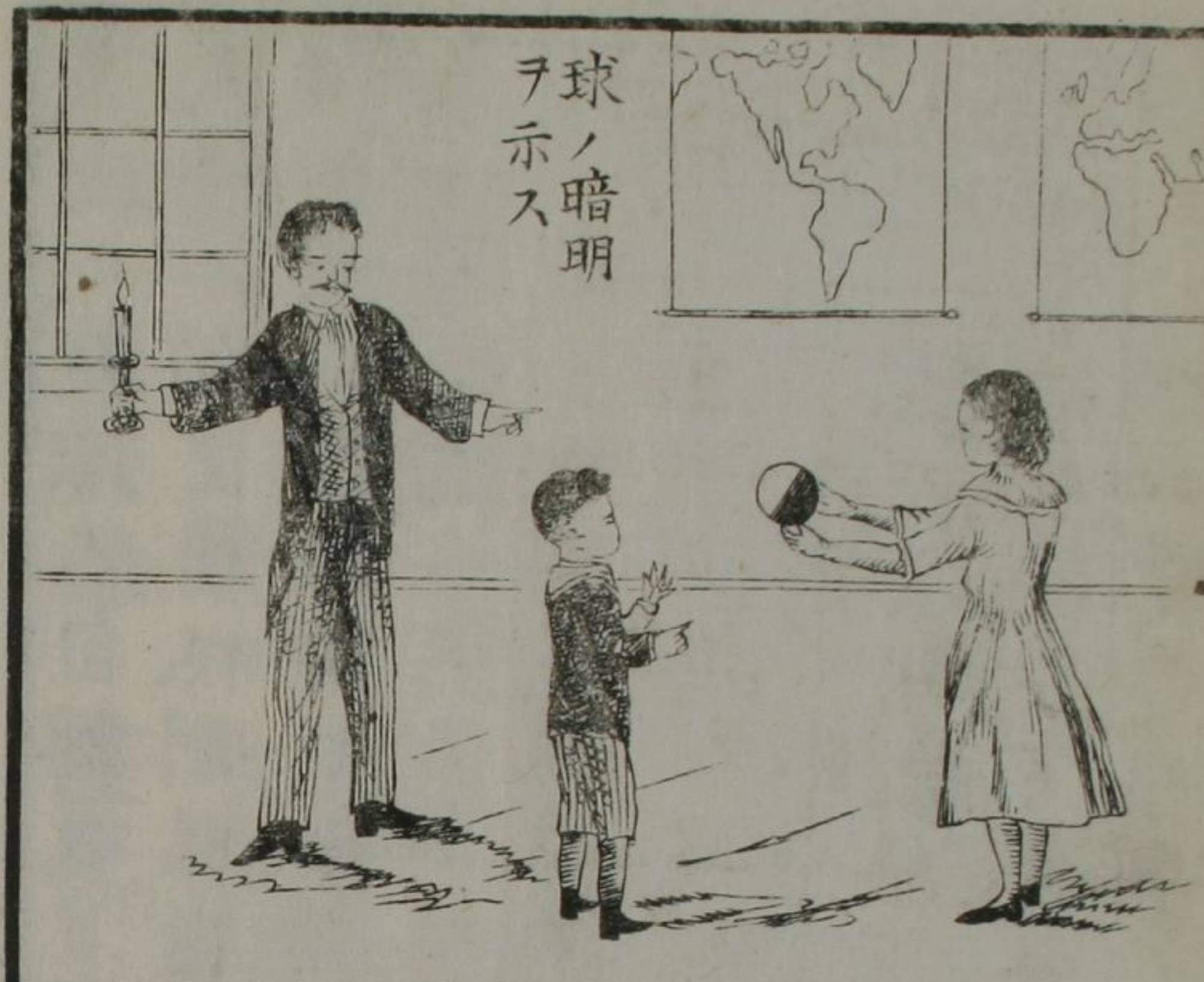


旋り、凡三百六十五日餘、即一年ノ間ニ、コレヲ一周スルモノニシテ、其狀恰獨樂ノ回リナガラ、環ノ形ヲナスガ如シ、コレヲ地球ノ公轉ト云フ、

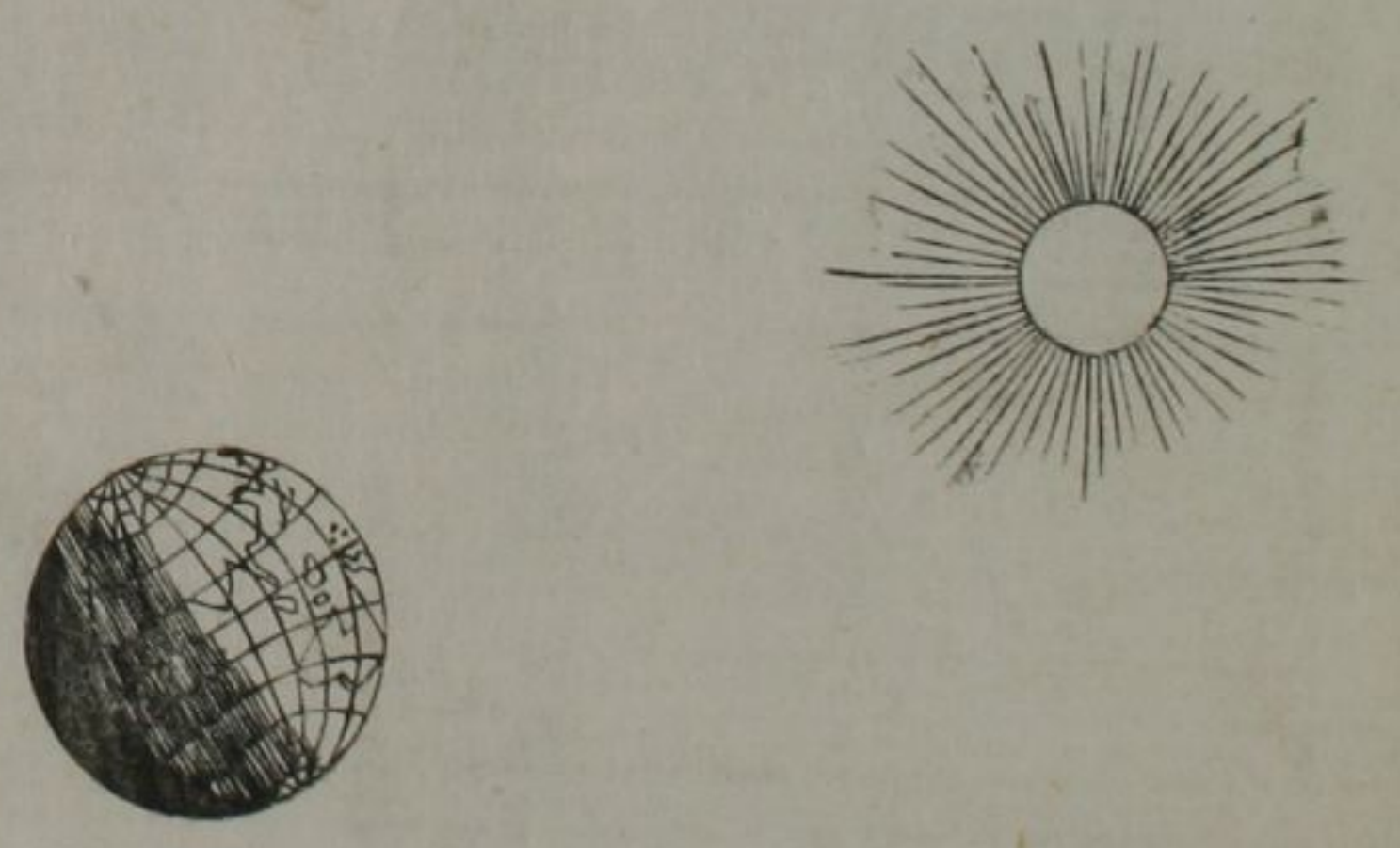
第六課 晝夜

晝夜ハ地球ノ自轉ヨリ生ズ、地球毎日回リテ、其太陽ニ向フ所ハ、明且暖ニシテ、晝トナリ、太陽ニ背ク所ハ、暗且冷ニシテ、夜トナルナリ、
今汝等蠟燭ニ火ヲ點ジテ、球ヲ照サバ、其半面ハ、光ヲ受ケテ明ニ、他ノ半面ハ、暗キヲ見シ、又徐ニ其球ヲ回セバ、前ト異ナリテ、其暗キ所ハ、漸ク明ニ、其明ナル所ハ、漸ク暗クナルヲ見シ、地球ハ、名ノ如ク、其形圓キ球ナレバ、晝夜ノ更代ハ、亦コノ理ニ因リテ起ルモノナリ、
地球公轉ノ道ヲ、軌道ト云ヒ、軌道ニ由リテ成レル

球ノ暗明ヲ示ス

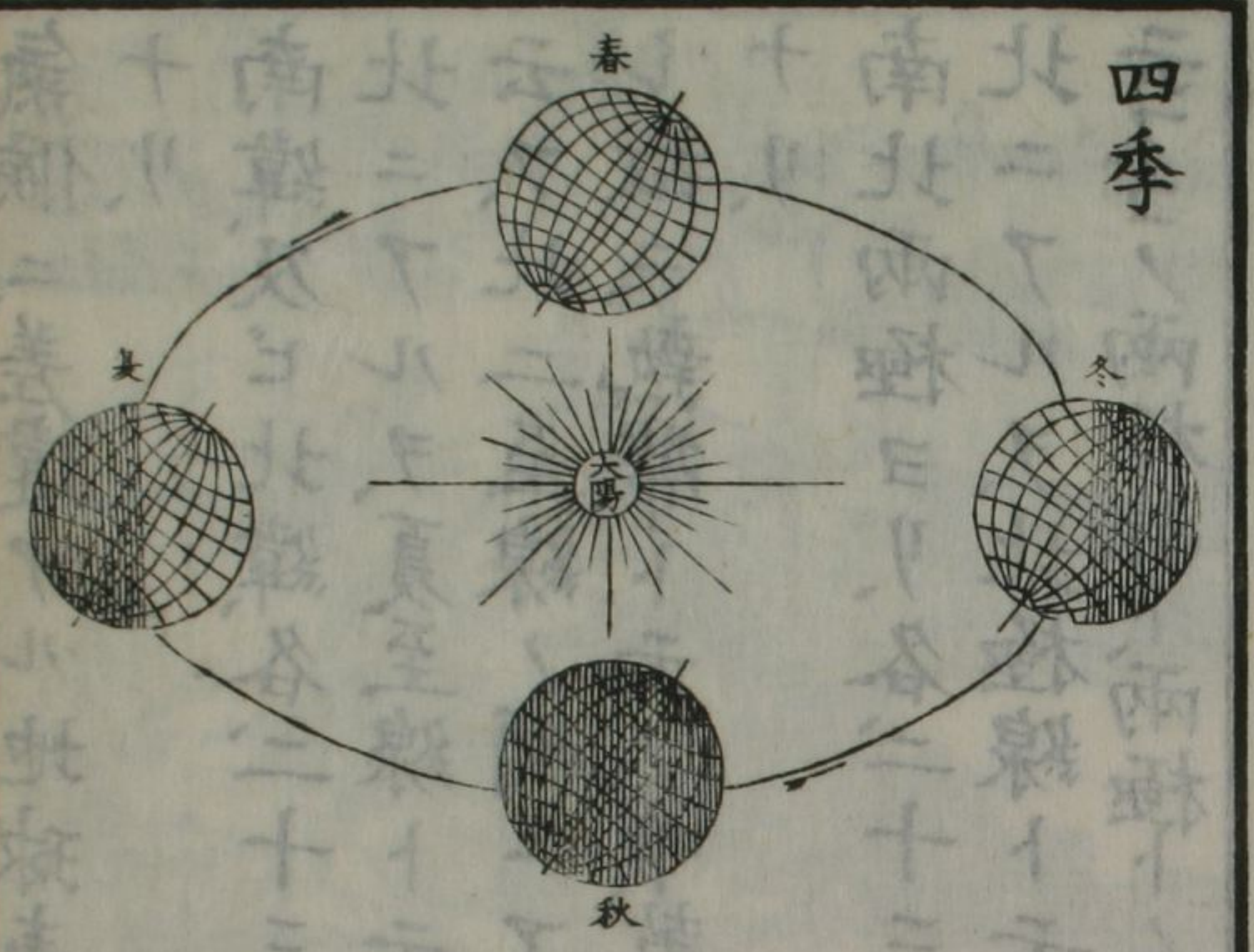


夜晝



平面ヲ軌道ノ平面ト云フ
 地球ノ軸ハ軌道中何ノ部ニ至ルモ常ニ一定ノ
 方向ヲ取り互ニ平行シ且軌道ノ平面ニ傾斜ス
 ルコト二十三度二十八分ナリ地軸ニ此傾斜ア
 ルヲ以テ軌道上地球ノ位置變ズルニ從ヒテ晝夜
 ノ長短ヲ生ズルナリ
 第七課 四季
 地球太陽ヲ一周スルノ間即一年間ニ春夏秋冬
 ノ四季推シ移ルコトハ既ニ知ル所ナリ斯ノ
 如ク四季ノ變更スル所ハ理ヲ原ヌルニ地球ノ

運行ト地軸ノ傾斜トニヨルモノニシテ地軸ハ
常ニ軌道ノ平面ニ傾斜スルコト二十三度二十
八分ナルヲ以テ地球ノ太陽ニ面シテ歌ツ所ノ
度ニ從ヒ其光線ヲ受クルニ直射斜射ノ別アリ
直射ナレバ炎熱トナリ斜射ナレバ寒冷トナル
故ニ夏ノ熱ク冬ノ寒キハ猶終歲日中ノ暖ニシ
テ朝夕ノ冷ナルガ如シ
又地球ノ形圓體ナルヲ以テ太陽ノ光線ハ赤道
地方ニ於テ最多ク且強クシテ兩極地方ニ於テ
最弱ク且少シ故ニ熱ハ赤道近傍最多クシテ極



四季

ニ至ルニ從ヒ漸次ニ減
少ス依リテ一地ノ溫度
ハ其緯度ニ關スルヲ通
例トス

第八課 氣候及ビ候

氣候トハ溫熱濕潤快適
常風及ビ四季ノ特性ニ
關スル其地ノ景况ヲ云
フ

氣候ニ差違アル地球表面ノ諸帶ヲ候帶ト云フ
ナリ、

南緯及ビ北緯各二十三度半ニ當リテ線アリ、其
北ニアルヲ夏至線ト云ヒ南ニアルヲ冬至線ト
云フ、此二至線ノ間ニアル地ハ一年中炎熱甚強
シ故ニ熱帶ト云フ唯乾濕二候ノ變化アルノミ
ナリ、

南北兩極ヨリ各二十三度半ニ當リテ線アリ、其
北ニアルヲ北極線ト云ヒ南ニアルヲ南極線ト
云フ、コノ兩極線ト兩極下ノ間ニアル地ハ四季共ニ光線



ヲ受クルコト
少シトス、故ニ
寒帶ト云フ、唯
夏冬ノ二季ア
ルノミナリ、コ
レヲ北寒帶南
寒帶ノニ二分
ツ、
兩極線ト、二至
線トノ間ニア

ル地ハ、熱帯ノ如ク、炎熱甚シカラズ、又寒帯ノ如ク、非常ニ寒冷ナラズ、故ニ、温帯、又中帯ト云フ、一年ニ、春夏秋冬ノ四季アリ、是ヲ北温帯、南温帯ノ二ニ分ツ、

第九課 人種

地球上ニ、生活住居スル人種ハ、其骨格容貌、頭顱ノ形、皮膚毛髮、眼目ノ色ニ、著シキ差違アリ、然レドモ、其生地ヲ同ジクスルモノハ、其自然ノ性質、互ニ、相類似スルヲ見ル、故ニ、コレヲ大別シテ、五ノ種類ニ分ツナリ、こゝろかゝあん種、もんごりやん種、あめりりゅん種、あふりかん種、及ビ、まれハ種是ナリ、

こゝろかゝあん種ハ、一ニ白人種ト云フ、頭顱殆、正圓ニシテ、額廣ク且隆ク、顔面卵形ニテ、鼻梁高起シ、顴骨扁平、口唇小ニシテ、齒牙并列シ、身體長大、皮膚ハ、卵白ニ淡紅ヲ帯ビ、頭髮多クハ褐色ニテ、柔軟卷下シ、眼睛多ク碧色ナリ、もんごりやん種、一ニ黄色人種ト云フ、顴骨稍方ニシテ、額狭小、顴骨凸出シ、鼻梁高カラズ、顔面平廣ナリ、皮膚ノ色ハ、攪黄ニテ、眼睛褐色、頭髮稀粗

ニシテ長ク、且黒キモノ多シ、鬚髭ノ多少等シカラズ、或ハ全クナキモノアリ、身體長大ナラズ、

五人種之圖



あめりかん種、一ニ銅色人種ト云フ、顔面廣シト雖、扁平ナラズ、眼陷リ、鼻廣ク、顴骨高ク、額低ク、頭髪黒ク、鬚髭少ク、或ハナキモノアリ、皮膚ハ赤色ニ淡黒ヲ帶ブ、其骨格稍もんどりやん種ニ近シ、

あふりらん種、一ニ黒人種ト云フ、頭骨ノ左右稍扁ニシテ狭ク、額低ク、顴骨高ク、鼻低ク、且廣クシテ、鼻孔大ナリ、口唇甚厚クシテ、上唇突出スルガ如シ、皮膚、眼睛共ニ深黒ニシテ、頭髪卷キ縮ム、まれい種、一ニ棕色人種ト云フ、顴頂稍狭ク、面廣ク、鼻低ク、皮膚黄褐ナリ、頭髪甚多ク、且軟ニシテ、卷キ縮メリ、

第十課 生活ノ状態

人ノ賢愚貴賤ハ種々ニシテ、相異ナレドモ、其性情及ビ、産業ヲ營ミ、互ニ、相交ル状態ニ從ヒ、之ヲ

大別シテ、三種トス、野蠻ノ民、遊牧ノ民、及ビ開化ノ民、是ナリ、野蠻ノ民ハ、露宿、或ハ穴居シテ、鳥獸、魚類、果實等

野蠻人之圖



遊牧人之圖



ノ如キ、天然ノ食ヲ仰ギ、漁獵耕作ノ業ヲ營マズ、茫然トシテ、月日ヲ消スルモノナリ、遊牧ノ民ハ、天幕中ニ住シ、獸群ト共ニ、水草ヲ逐

開化人民之圖



ヒテ、漂泊シ、獸類ヲ以テ、其生命ヲ繫グ、稀ニ、茅屋ニ住シ、衣服ヲ着クルモノアルモ、極メテ粗ナリ、開化ノ民ハ、整頓セ、ル、政府ノ下ニ住シ、學術、技藝ニ達シ、禮義ヲ重シ、廉耻

ノ心深く、各農工商ノ業ヲ營ミ、以テ、各自衣食ヲ支給ス、又、事物ノ理ヲ推シ究メ、精巧ノ器ヲ發明スルモノアリ、

第十一課 宗教

宗教ハ、常ニ能ク彝倫ヲ正シ、能ク風俗ヲ化シ、又能ク政治ヲ裨補シテ、大ニ世ニ益アルモノナリ、今之ヲ大別シテ、二類トス、其一ハ、唯一神ヲ信奉スルモノニシテ、其二ハ、多クノ神ヲ尊ビ崇ムルモノナリ、

一神ヲ奉祀スルノ教派ニ、三種アリ、基督教猶太

教、回々教、コレナリ、

多クノ神ヲ尊ビ敬フモノハ、婆羅門教、浮屠教等ニシテ、其來ル最古シト云フ、

第十二課 政府

政府トハ、一國ヲ支配スル、権力ヲ有スル所ニシテ、共和政府、立君政府ノ二種アリ、

共和政府ノ國ニハ、血統ノ君ナク、一定ノ國法ヲ立テ、其政ハ、人民ノ代議士、コレヲ行フモノニシテ、其政府ノ最高官ヲ、大統領ト稱ス、
立君政府ノ國ニハ、世襲ノ君アリテ、國君一人ニ



テ、一國ノ政治ヲ行フモノニシテ、其政治ニ、君主
獨裁ナルアリ、或ハ、立憲政體ナルアリ、前者ハ、政
ヲ行フノ權、全ク、君主一己ノ意ニ、歸スルモノニ
シテ、後者ハ、君主人民ノ權限、明文上、判然定立セ
ルモノナリ、



亞細亞

凡例
 以上之地 一千英尺
 以下之地 一千英尺
 各大洲高低 着色之

五十
四十
三十
二十
十
零
十

五十
四十
三十
二十
十
零
十

十四 十五 十六 十七 十八 十九 百 十百 十二百 十三百 十四百

第二章 亞細亞洲 北緯 太平洋 間

第一課 位置及海岸

亞細亞ハ、東大陸ノ東北部ニシテ、北緯、一度ヨリ、七十五度ニ至リ、東經、三十五度ヨリ、百八十度ニ至ル、大洲中ノ最大ナルモノナリ、本洲ノ海岸ハ、地勢參差一ナラズ、殊ニ、東岸及南岸ヲ、最甚シトス、

北氷洋ニハ、北極ノ内海、せう江いろ、ぶねすとく
の岬アリ、
太平洋ニハ、かむさつか、朝鮮ノ二大半島ト、これ

つく海、日本海、黄海、東海、及支那海アリ、樺太、北海
 道、本州、四國、九州、琉球、臺灣ノ諸島ハ、脈ヲ太平洋
 諸島ニ連ネ、馬來半島ニ至リ、此五海ヲ擁シテ、殆
 地中海ノ形勢ヲナス、
 印度洋ニハ、前後兩印度、及、あらびやノ三大半島
 アリテ凸出シ、べんごたる、たうまん、べるゝや、あ
 でんノ諸灣、及、紅海アリテ凹入セリ、
 西部ニ、黒海、地中海アリ、小亞細亞ノ半島ヲ環擁
 ス、
 海峽ノ著名ナルモノハ、北氷洋ト、太平洋トノ間

ニ、ベリんぐ峽アリ、印度洋ト、太平洋トノ間ニ、
 まらつか峽アリ、
 太平洋ニハ、たるたりい、おれあふたるもさ峽ア
 リ、
 印度洋ニハ、ほうく、ねるもず、ばべるまんでぶ峽等
 アリ、宜シク、地圖ニ就キ、之ヲ探究スベシ、

第二課 高地

本洲ノ地面ハ、凡三分ノ二ハ、高地ヨリ成レリ、即
 大陸ノ中央部、地中海濱ヨリ、太平洋ノ海濱ニ、達
 スルノ地方、是ナリ、而シテ、此高地ハ、東西ノ二大

部二分レタリ、

東部ノ高地ハ、西藏臺地、ゴビノ沙漠等ヲ合セタル高原ニシテ、北ニ、阿爾泰山アリ、東北ニ、興安山アリ、東南ニ雲嶺アリ、南ハヒマラヤ山脉ニ界シ、西ハはみやノ臺地ニ限ル、高原上ニモ亦天山、及崑崙山等ノ高嶺アリ、ヒマラヤハ、雪山ノ義ニシテ、江べれすとト名クル、高峯アリ、實ニ世界第一ノ高山ニシテ、高サニ萬九千一百尺ニ至ル、西部高地ハ、いらん、あるみや、小亞細亞、及、

やノ高原ヨリ成ル、北ニヒムんどくろし及江るほ
るずノ諸山ヲ繞テシ、東ハ、そりまん山脉ヲ限リ、
西ハ、ざぐるろす山脉綿互シテ、あるみにやノ諸山
ニ連ル、

此高原ハ、中間ニ、空曠ナル沙漠ヲナスヲ以テ、人
民ハ、概、四邊ノ谿間ニ、膏腴ナル地ヲ占メテ、之ニ
住居ス、

第三課 低地

本洲ノ北部ハ、最廣大ナル平原ヲナス、即韃靼、及
西比利亞ノ平原、是ナリ、西比利亞ノ平原ハ、氣候

親持地言 卷之三
概寒列ニシテ其南部ハ松柏樺等ノ茂生スルヲ
見レドモ北海ニ沿フノ地ニ至リテハ終古氷雪
ノ消スルコトナク、瀦澤ノ間僅ニ蘚苔ノ類ヲ生
ズルノミ、

支那ノ平原ハ東海ニ沿ヒ、黃河、揚子江ノ下流、此
地ヲ流通シ、地味豐沃、氣候溫暖ニシテ、盛ニ米穀、
茶、綿、烟草等ヲ産ス、

ひんどすたんノ平原ハ、がんどす及印度河ノ灌
沃スル所ニシテ、土質膏腴、氣候炎熱ナルヲ以テ、
植物ノ蕃茂最盛ニ、異常ノ動物、此間ニ棲息セリ、

ゆうふらちいずたいぐりす河ノ平原ハ、之ニ次
ギテ、廣濶ニシテ、膏腴ナル低地トス、

第四課 河湖

亞細亞ノ大河ハ、概源ヲ中部ノ高地ニ發ス、
最大ナル河ヲ、揚子江トス、江にせいの、黃河、之ニ次グ、
其他にび、印度、がんどす、かむぼぢや、めなむ、いら
わで、及、札な河等アリ、

ゆうふらちいず及たいぐりす河ハ、あるみにや
ノ山中ニ發シ、南ニ流シ、終ニ合シテ一ト爲リ、べ
る志や灣ニ注グ、とるきすたんノ西北部ハ、地極

メテ低クシテ、裏海、鹹湖ノ如キニ至リテハ、海面ヨリ低キコト、八十尺餘ニ及ブ、裏海ハ、湖ノ最大ナルモノニシテ、鹹湖之ニ次グ、其他、はいかる、ばるかい湖等、頗有名ナリ、

第五課 氣候

境土、廣大ナルヲ以テ、其氣候、地方ニ隨ヒテ、大ニ異ナリ、西比利亞ノ北部ノ如キハ、嚴寒、指ヲ墮スニ至リ、漸、南スルニ從ヒ、漸、暖ニシテ、直ニ、印度地方ニ至レバ、炎熱最酷ク、森林中ニ在リテ、漸、暑ヲ凌グベシ、

亞細亞ノ動植物ハ、其種類甚多ク、他洲ニ曾テ見ザルモノアリ、故ニ、人或ハ本洲ヲ目シテ、有機體ノ生育場トス、

第六課 產物

植物ハ、南部ニ最夥シク、盛ニ麻、粟、香木、蘇木等ヲ産シ、北部、及中部ニハ、松、杉、樺、栢等ノ良材ヲ産ス、本洲、物産ノ最著名ナルハ、米、麥、茶、綿、砂糖、肉桂、青黛、鴉片、及紙トス、動物ハ、野獸ニ、象、犀、野牛、虎、豹等アリ、家畜ニハ、駱駝、馬、山羊、羊、家猪、犬等ヲ最トス、又、南部ニハ、美麗

ナル鳥、及毒蟲多ク、北部ニハ、貂、海狗、及白熊等アリ、又、鑛物ニ富ム、中ニ就キ、寶石ノ類ハ昔ヨリ、最著名ナル金剛石、紅寶石等ヲ出シ、又多ク黄金等、貴重ノ諸鑛ヲ産ス、

第七課 支那

支那ハ、本洲東部ノ大國ニシテ、域内ヲ分チテ、支那本部、支那韃靼、及西藏ノ三大部トス、境土ノ大ナル、大略、亞細亞ノ三分一ヲ領ス、且夙ニ開化ニ赴キシ舊國ニシテ、我邦トノ交通最久

シ、地勢、西南北ノ三方ハ、山嶺重疊シ、又、一帯ノ大沙漠アリテ、東西ニ延互セリ、其東、南海ニ接スルノ地ニ至リテハ、平衍ナル沃野ナリ、米穀、烟草、茶、綿、絹布、藥種、金銀、玉、及諸寶石等ヲ産ス、又、陶器、及紙ハ、此國有名ノ製造品ナリ、支那本部ハ、舊來ノ漢土ニシテ、之ヲ分チテ、十八省トス、

省トハ、猶我邦ニテ、道ト云フガ如シ、支那人ハ、男子ハ、長ク髮ヲ辮シ、之ヲ背後ニ垂レ、

萬里之長城圖



女子ハ其足ヲ局ム故ニ
 大人ト雖兒童ノ靴ヨリ
 尚小キモノヲ穿テリ
 此地方ニハ二ノ奇跡アリ
 其一ハ秦ノ始皇ノ築
 ケル萬里ノ長城防グ奴
 三、築ケル城壁ニシテ東
 ハ、遼東ヨリ起リ、西ハ、嘉
 峪關ニ達ス、長サ、千二百餘
 里、高サ、二丈五尺、厚サ、一
 丈五尺ニシテ、其一ハ、隋
 ノ煬帝ノ鑿テル運河大

府ノ溝渠ニテ北、天津ヨリ、南、杭州ナリ、此渠アルガ
 為舟運ノ便甚大ナリ、

北京ハ支那本部ノ東北、直隸省ノ順天府ニ在リ、
 即清國京城ノ地ニシテ、人烟ノ稠密ナルハ、英京
 倫敦ニ次グ、世界上有名ノ大都會ナリ、然レドモ
 市街不潔ニシテ、民俗頑陋ヲ免レズ、人口ハ、一百
 六十五萬ニ至ルト云フ、
 南京ハ支那ノ舊都ニシテ、東部、江蘇省ニ在リ、人
 口、五十萬、其繁盛、北京ニ次グ、
 廣東ハ南部ニ在リ、商業最盛ナリ、

上海天津寧波廈門香港漢口福州等ノ如キモ、
亦盛大ナル都會ニシテ、外國トノ貿易場タリ、
支那韃靼ハ、滿州蒙古伊犁等、屬國地方ノ總稱ナ
リ、
滿州ハ、清帝ノ本國ナレドモ、現今ハ、殆其過半露
西亞領ニ屬セリ、
奉天府ハ、滿州ノ首府ニシテ、其南方ノ地ニ在リ、
城廓堅固、市街繁華ニシテ、人口五十萬アリ、此府
ノ東北ニ、吉林府アリ、吉林省ノ都會トス、
どろのる府ハ、内蒙古第一ノ都會ニシテ、絹布銅

鐵ノ製造品、及佛具等ヲ輸出シテ、貿易頗盛ナリ、
又、からふるむ府ハ、外蒙古、昔時ノ都會ニシテ、賣
買城ハ、西北利亞界ノ山中ニ在リテ、露西亞トノ
貿易場ナリ、
やるかんど府ハ、伊犁地方ノ大都府ニシテ、人口
六萬餘、寺院甚多シ、其東南ニおうてん府アリ、西
南ニかゝがる府アリ、皆繁盛ノ地ニシテ、商旅隊
ヲ結ビ、往來貿易スルモノ、甚多シ、
西藏ハ、本部ノ西ニ位セル地方ニシテ、境内ヲ前
藏後藏ノ二部ニ分ツ、

此地ハ高原ニアリ、低處ト雖、海面ヨリ高キコト、
一千餘丈ニ至ル、首府らつさハ人口五萬餘、支那
ノ鎮台アリ、宏壯ナル佛閣多ク、其結構、人ヲ驚カ
スト云フ、

第八課 朝鮮

朝鮮ハ支那ノ滿州ニ接シテ南ニ斗出セル、一大
半島ナリ、
小白山ナル、一帶ノ山嶺國中ヲ通過ス、此嶺ノ西
方ハ平野頗廣クシテ、地味肥沃ナリ、氣候ハ寒暑
共ニ烈シク、産物ニハ、米麥果實、人參、虎熊、猪、材木、

鐵等アリ、金銀銅ハ未採掘セズ、

漢江ハ京畿ノ大川ニシテ、運送ノ便アリ、河口ヲ
江華島トス、其東岸、鹽河ニ沿フ所ニ砲臺ヲ設ク、
此國ノ首府ヲ漢城ト云フ、漢江ノ北岸ニアリ、此
國ハ近年獨立セル邦ニシテ、國王政事ヲ專斷セ
リ、而シテ、又近時我が邦ト交通ヲ開ケリ、

第九課 西比利亞

西比利亞ハ本州北部ノ總稱ニシテ、分チテ、東西
兩部トス、全土露西亞ノ所轄ナリ、鑛物及獸皮ヲ
以テ名産トス、

域内、曠漠ノ荒野多ク、氣候寒冽ニシテ、稼種ニ適
セズ、土人多クハ漁獵ヲ業トシ、或ハ水草ヲ追ヒ
テ轉徙ス、
馴鹿ハ、此地方ニ於テ最、要用ナル獸ニシテ、土人
之ヲ使役シテ、橈ヲ引カシメ、其肉ヲ食ヒ、其皮ヲ
衣ル者多シ、
西部ニ、とほるをくねもすくとむをく府等アリ、
南部ニ、いるこうつく、東部ニ、やこうつく、ねこ
つく府等アリ、皆此地方ノ大都會ナリ、

第十課 後印度

支那ノ南ニ在リ、海中ニ突出シタル地方ヲ、後印
度ト名ク、
域内ヲ、安南^{アナム}、佛蘭^{佛蘭}西^西政府^{政府}ノ、暹羅^{シヤム}、緬甸^{ビルマ}、英^英吉利^{吉利}政府^{政府}ヲ受
クノ三國及老撾^{ラオス}、馬來半島ノ諸部ニ分ツ、
數條ノ大河流域中ヲ流通シ、運輸灌溉ノ便ニ富ミ、
氣候暖熱、地味膏腴ニシテ、物産甚豐饒ナリ、中ニ
就キ、最著名ナルハ、米、砂糖、綿木材及胡椒、其他ノ
香料等ニシテ、又鸚鵡、孔雀等ノ、美麗ナルモノ多
ク、奇異ナル獸類亦少カラズ、
ふ江う府ハ、安南ノ首府ニシテ、其東邊ノ海濱ニ

在リ、宮殿アリ、甚美麗ニシテ、城門ニ佛像ヲ置キ、飾ルニ金銀ヲ以テス、又かむぼぢや河ノ支流ニ浴ヒテ一府アリ、さいごんと名ク、ばんこつく府ハ暹羅ノ首府ニシテめあむ河口ニ在リ、河廣ク水深クシテ、洋船ヲ碇泊スベシ、河濱ノ居民ハ家屋ヲ椽上ニ作り、水上ニ住スルモノ多シ、まんたれい府及らんぐうん府ハ緬甸ノ都會ナリ共ニいらわて河邊ニ在リ、貿易最繁盛ナリ、志んがほうるハ、まらつか海角ノ小島ニアリ、

其地赤道ノ下ニ位シ、氣候酷烈ナレドモ、東西來往ノ要地ニシテ、船舶常ニ輻湊セリ、

第十一課 前印度

前印度ハ、後印度ノ西ニ在リ、一大半島ノ地方ニシテ、所謂天竺是ナリ、境内ヲ山地ハんどすたん及でかんノ三部ニ分ツ、國ノ南端ヲ、こもりん海角ト云フ、其近海ニ、一大島アリ、せいろんと名ク、則釋迦ノ教法ヲ修メタル地ニシテ、寺院ノ建設甚宏壯ナリ、又此島ノ近海ヨリ、多ク真珠ヲ産ス、

氣候、北方ハ、まらやノ麓ハ、
爽涼ナレドモ、南方ノ平
原ハ、炎熱最酷ク、且夏月
ノ候、頗長シ、地勢低下ノ
處ハ、常ニ濕熱ナリ、椰樹
檳榔、芭蕉、罌粟ノ如キハ、
物産中ノ著名ナルモノ
ニシテ、金剛石、其他ノ寶
石類ニ富メリ、又虎、豹、犀、
象、巨蟒、鱷魚、孔雀、風鳥等

印度動物



ノ如キ、珍禽奇獸ヲ産ス、
全土、概、英國ノ所轄ニシテ、中ニ尚獨立ノ部アリ、
ほうる及ぶうたんノ如キ、是ナリ、
此地、第一ノ都會ヲ、かるこつたト名ク、ふうぐり
ハ、河岸ニ在リ、英領印度ノ首府ニシテ、英人、盛ニ鎮
台ヲ設ケ、鐵道ヲ敷キ、軍艦商船、常ニ港口ニ輻湊
セリ、市街ノ一部ハ、歐風ノ官署邸宅等アリテ、頗
美麗ナリ、又土人ノ住スル一部ハ、矮屋相連リ、穢
陋最甚シ、
べなりハ、ず府ハ、がんぢす河ノ中流ニアリ、是土

新撰地誌 卷之三
人ノ靈地ト名クル所ニシテ、華麗ノ寺院、府内ニ
満チ、土人ノ富豪ナルモノ、多ク此ニ住ム、
是ハ
イモ、亦、もごる王ノ都址ニシテ、其名、頗著シ、
第二ヲ、まどらすト云フ、
在リ、其繁盛ナルハ、
ヲ寄スベキ、
云フ、
第三ヲ、ぼむべイト云フ、
洲ノ衝ニ當リ、殊ニ、
財ノ中心ト稱セラル、

まどらすノ南方ニ、ぼんでいせり府アリ、佛國ノ所
轄ナリ、ぼむべいの南方ニ、ごあ府アリ、
地ナリ、錫蘭島ノ西岸ニ、一府アリ、
名久、飛脚船ノ寄泊スル所ナリ、

第十二課 ともきすたん

此國、一ニ、獨立韃靼ト稱ス、
在リ、國內、大小、
統一セズ、

各部落ニ、汗ト稱スル、
甚衰へ、全國、
所トナラントスル

ノ勢アリ、

全土概瘠地ニシテ、荒野多ク、氣候寒熱酷シク、雨露少シ、礦屬及馬駱駝等ヲ産ス、

國人勇悍ニシテ、暴戾ナリ、多クハ、遊牧ヲ業トシ、間、農業ヲ營ムモノアリ、

ぼからハ、國ノ中央ニ在リ、昔時ヨリ、有名ノ都ナリ、隊商往來、貿易甚盛ナリ、

第十三課

あふがにすたん及びびるぢすたん

此二國ハ、共ニ、前印度ハ、西ニ隣レル、徧小ノ國ナ

リ、

域内、山岳相連リ、沙漠曠野多ク、地味宜シカラズ故ニ、

山間ノ水邊ニ非レバ、人民ノ生活ニ適セル地ナ

シ、

終年、降雨少ク、氣候甚乾燥ナリ、産物ハ、鑛物、果物、

烟草及綿等トス、

國內、數多ノ部落ニ分レ、土俗勇悍ニシテ、開化ニ

進マズ、土蠻多クハ、遊牧ヲ業トス、

あふがにすたんニハ、かぼうる、へらつと、かんだ

はる等ノ、都府アリ、皆、其部落ト名ヲ同ジクス、

新撰地誌 卷之三
びるちすたんノ東部ニ、都府アリ、けらつとト名
ク、行商隊ヲナシテ往來シ、貿易盛ニ行ハル、

第十四課 べる志や

べる志やハ、前二國ノ西ニ在リ、

地勢西北ハ、山嶺相連リ、氣候寒冷ナレドモ、中央
以南ハ、皆低地ニシテ、暑氣甚強シ、内地ハ、東ヨリ
中部ニ、砂磧連互シ、河流水淺ク、艸木稀少ナリ、只
裏海ノ近傍ハ、山多ク、肥田沃野アリ、南方ノ海灣ヲ、
べる志や灣ト名ク、多ク真珠ヲ産ス、

國中、遊牧ノ民ナキニアラザレドモ、耕織ヲカム

ルモノ多キヲ以テ、田野大ニ闢ケ、盛ニ、布帛ノ類
ヲ出ス、中ニ就キ、毛氈及、金銀線ハ、有名ノ産物ニ
シテ、其他種々ノ鑛物佳美ナル果實等ヲ産ス、
此國ハ、上古繁盛ヲ極メタル國ニシテ、處々ニ當
時ノ遺跡アリ、現時ハ、甚衰頽セリト雖、尚獨立ノ
一王國タリ、
べる志や人ハ、狀貌閑雅ニシテ、絶エテ、兇暴ノ風
ナク、且、學問ヲ好ム、然レドモ、其學問タル、概、詩文
ノ料ニシテ、未、社會ノ幸福ヲ進ムルニ足ラズ、
首府ヲ、てへらんと名ク、北方ノ山脚ニ在リ、人口、

二十萬王城アリ、墻壁堅固ニシテ、頗美麗ナリ、又、其南方ニ、一府アリ、いすばはんと云フ、此國ノ舊都ニシテ、通商ノ地ナリ、

第十五課 あらびや

本洲ノ西南隅ニ、一大半島アリ、之ヲあらびやト云フ、

此國ハ、三ノ相異レル、地方ヨリ成ル、則、内部ニハ、彎月形ノ高原アリ、山澤水草ニ富ミ、其左右ハ、曠茫タル沙漠ナリ、而シテ、海濱ノ一帯ハ、概、低地ニシテ、頗肥沃ナリ、

内部ノ高原ヲねつぢえつと稱シ、海岸地方ヲ三部ニ分チ、其西北ヲつぢやず、西南ヲい、めん、東南ヲねうまんト云フ、沿海ノ地ハ、往々、人民ノ相集リテ、村落ヲ爲スモノアリト雖、内地ハ、皆、遊牧ノ野蠻ノミニシテ、或ハ、群盜ヲナスモノアリ、故ニ、此國ハ、數多ノ部落ニ分レ、一ノ政府ニ屬セズ、産物ハ、彼ノ有名ナル、駿馬及、騾馬、駱駝等ノ動物、及、咖啡、へる志や、棗、護謨等ノ植物ニシテ、共ニ、土人ノ爲ニ、闕クベカラザル要品タリ、

西北隅ニアル、志ある山ハもせず、人經テ、天神ヨリ
受ケシト、言ヒ傳フル、著名ノ古蹟ナリ、
へ志やず地方ニ、めつか、めぢふハ、ニ府アリ、
めつかハ、回教ノ祖、まほめつとノ生レシ處ニシ
テ、めぢふハ、其墳墓ノ地ナルヲ以テ、其名、頗世ニ
現ル、

ますかつとハ、ねうまん地方ノ首府ニシテ、ねう
まん灣ニ臨ミ、貿易最盛ナリ、灣中ニ暗洲アリ、大
ナル珠母ヲ産ス、
ね志江つどハ、内地中央ノ高地ニシテ、山間數多

ハ、豊富ナル谷アリ、人民
多クコレニ住居ス、
あでんハ、此國ノ西南隅
ニアリ、紅海出入ノ咽喉
ニシテ、英國ニ屬スルノ
良港ナリ、東洋往返ノ船
舶皆、此ニ碇泊ス、
第十六課 亞細亞と
るこ
此國ハ、本洲ノ西端ニシ

圖之水貯んであ



テ、域内ヲ分チテ、志リヤ、小亞細亞、あ、めじや、及
めそほ、たみや、人、四大部トス、
地勢山多シ、只南部ハ、沙漠多クシテ、農耕ニ適セ
ズ、物産ハ、穀物諸種ノ果物及、香木毛布等ナリ、
此國ハ、人民ノ始メテ繁殖セシ地ト稱シ、且、往昔
盛大ヲ極メタル邦國、人、都セシ所ナルヲ以テ、各
地ニ、有名ナル古趾多シ、
ばつそらハ、あ、めじやノ舊都ニシテ、人口、六萬
餘、貿易甚盛ナリ、
ばぐだつどハ、たいぐりす河ノ濱ニ在リ、印度地

方トノ交易場ニシテ、人口十五萬餘アリ、即、めそほ
たみやノ首府ナリ、
をみるなハ、小亞細亞西岸ノ海灣ニ臨メル、一大
都會ナリ、此府ハ、部内第一ノ海港ニシテ、市街繁
華、船舶輻湊シ、通商甚盛ナリ、
志リヤ地方ニ、だますかす、及、びるされむ府アリ、
だますかすハ、人口十三萬餘、物品ノ製造、内外ノ
交易甚盛ニシテ、行商多ク、隊ヲ爲シテ、往來セリ、
びるされむハ、古來有名ノ地ナレドモ、當今ハ、大
ニ衰頽シ、人口、僅ニ二萬ニ過ギズ、彼ノ耶蘇ノ墳



加非亞

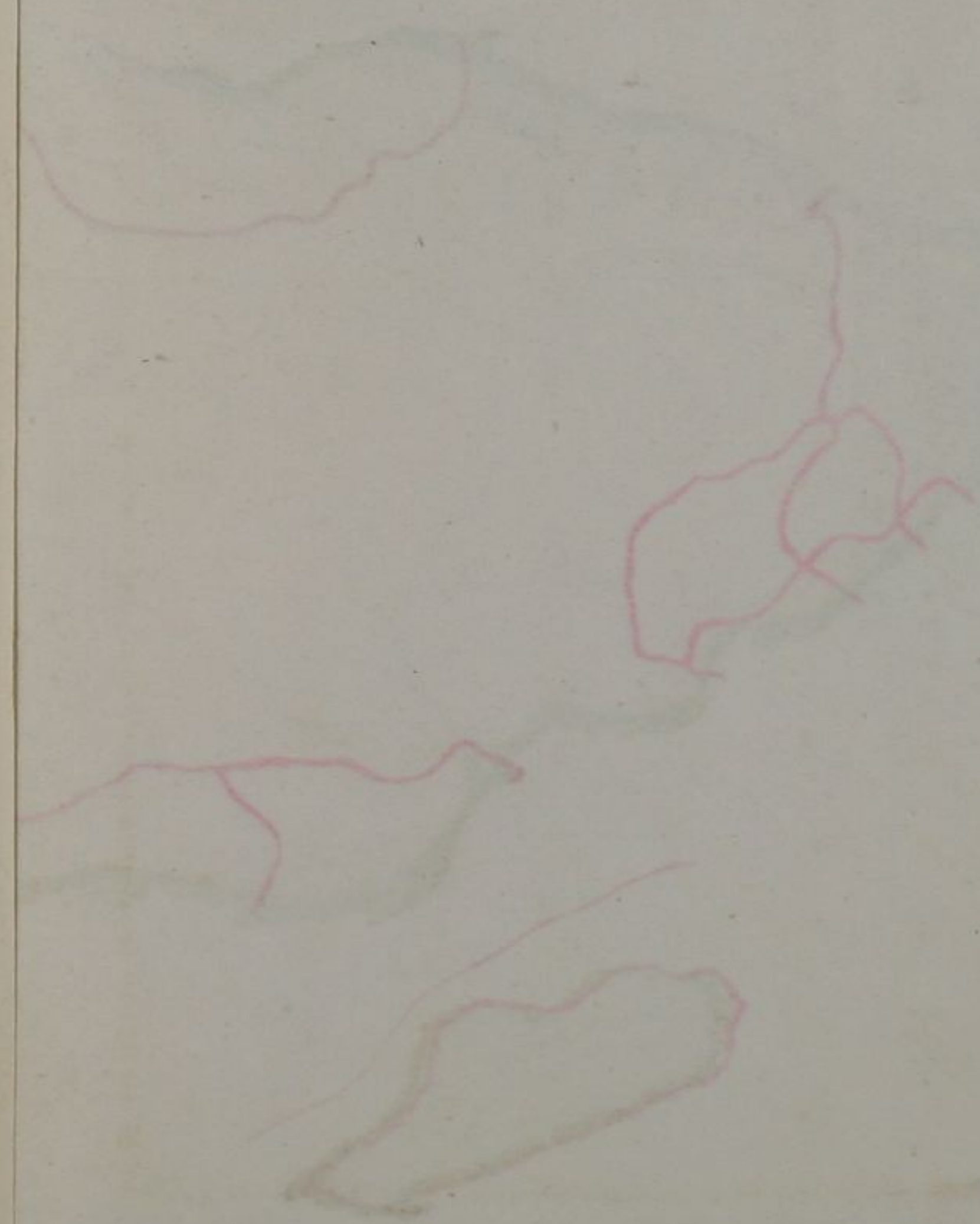
里陸本日 百里
里陸日 百里
里陸日 百里

第三章 亞非利加洲

第一課 位置及區劃

亞非利加ハ、東大陸ノ西南ニ位シ、海洋四面ヲ環繞シ、唯東北ノ一部ノ三、纔ニ一綫ノ地峽ヲ以テ、亞細亞ニ連リ、殆一大半島ノ狀ヲ爲セリ、此地峽ハ所謂、モジスト、稱スルモノナリ、今ハ、之二、一道ノ一大溝渠ヲ鑿テ、大ニ、東西洋ノ航通ニ便ス、

洲内ヲ大別シテ、なほ、る地方ばるばり、地方東亞非利加、南亞非利加、西亞非利加、中亞非利加、さは



新才其言 卷之三
ら地方及亞非利加諸島ノ八部トス

第二課 地勢

地勢一般ニ高原ヲ爲シ其縁邊ニ山岳重聳シテ、
長嶺ヲナシ北部ハ大沙漠ナリ、
此山嶺ト海岸トノ間ハ狹クシテ長キ低地ニ屬
シ其廣サ二十里ヨリ百二十里ニ出入ス、
紅海ノ西岸ニ沿ヒ嶮絶ノ山嶺ヨリ成レル一帯
ノ高地アリ是本洲中ノ最高度ヲ占ムル部分ナ
リ之ヲあびしにやノ高地ト名ク、
此高地ヨリ南ニ向ヒ支出セル長嶺アリ海濱ニ

沿ヒ直ニ大洲ノ南端ニ達ス其中ニけにや、きり
まんぢやろノ二峯アリ雲表ニ聳エ高サ甲ハ一
萬六千尺乙ハ一萬八千尺餘ニ至ル、
西方海岸ノ山脈ハこんくりすたる等ノ名ヲ得
タリ又極南ノ地ニにゆううゑると山アリ、
地中海濱ニ連延スル群山ヲあとらす山ト云フ不
齊ノ山脈各山頸ヲ以テ相連絡ス、
本洲ノ内地ハ總ベテ曠漠タル高原ニシテ人跡
ノ達セザル所多ク其詳細ヲ知ル能ハズト雖地
勢ニ從ヒ三部ニ區分ス即南部高原中央高原及

さはら沙漠、是ナリ、南部、及中部ノ高原ハ、地面各處ニ、壓落スル所アリテ、許多ノ湖澤ヲ爲シ、漸次、四邊ニ向ヒテ、隆起スルモノニ似タリ、さはらモ、亦地面ノ凹凸、一様ナラズ、其壓落シテ、水濕ノ湊集シ、植物ノ繁茂スル處ヲ、泉池ト名ケ、其數甚多シ、隊商依リテ、此間ヲ往還ス、實ニ、世界上、沙漠ノ最大ナルモノナリ、

第三課 河湖

洲内ノ大湖ハ、南部ノ高原中ニ散在スル、にあんざ、あるべるとにあんざ、ういくとりにあんざ、にげる河ハ、こん山脉ヨリ發シ、ぎにあ灣ニ注ギ、こんごう、及ぎむべド、の河ハ、内部ノ湖ヨリ出テ、一ハ、大西洋ニ注ギ、又一ハ、もざんびく海盆ニ入ル、

たんがにかがあみいぢろ、湖、及中部ノ高原中ニ在ル、ちやつど湖等、是ナリ、

本洲第一ノ大河ヲ、ないるト名ク、源ヲあるべるとにあんざ、ういくとりにあんざ、ハ、二大湖ニ發シ、長サ、三千九百里アリ、

にげる河ハ、こん山脉ヨリ發シ、ぎにあ灣ニ注ギ、こんごう、及ぎむべド、の河ハ、内部ノ湖ヨリ出テ、一ハ、大西洋ニ注ギ、又一ハ、もざんびく海盆ニ入ル、

せねがる、ころんびや、及たれんぢ等モ、又本洲ノ

大河ナリ、

第四課 氣候

大洲ノ四分ノ三八、殆熱帯ニ位スルヲ以テ、熱氣極メテ強ク、南北ノ兩端ハ、温帯ニ屬スト雖、温度他ノ地方ヨリ高シ、是大沙漠ノ熱氣ヲ増進スルニ由ル、

亞非利加中央熱帯ハ、降雨ハ特ニ多キ地ニシテ、瘴熱ノ氣深ク、其他ハ、特ニ雨少キ所ニシテ、甚乾燥ナリ、氣候概人ニ適セズ、
式ハ、第五課ニ産物ニシテ、賦文中將ハ、高氣中

亞非利加ノ北部ハ、温帯ノ植物ヲ産シ、熱帯ノ植物之ニ雜ル、野薔薇杜松等、特ニ名アリ、地味、氣候亦穀類ニ適ス、

熱帯多雨ノ地ニハ、椰樹檳榔等種々ノ草木夥ク蕃茂シ、南部ハ、穀類蔬菜ニ適シ、綿ハ、各地ノ野ニ生ズ、又ばねばぶ樹等アリ、

動物ハ、其種類極メテ多ク、其珍奇ナル、他ノ大洲ニ冠タリ、牛、羚羊、象、駱駝、及、駝鳥等、最著名ナリ、奇異ノ禽獸ニハ、トドラふ斑馬、河馬、ごりら、ちんぱん、ぞい等アリ、又、河水ニハ、鱶魚群棲シ、深山幽谷ニ

ハ、巨蟒多シ、

鐵及銅ハ、洲内一般ニ産スルモノ、如シ石炭ハ、稀少ナレドモ、金銀ハ、往々各地ヨリ出ヅ、又砂漠地方ノ湖水ヨリ、鹽及、なとろんヲ得ルト云フ、

第六課 ないる地方

ないる地方トハ、本洲ノ東北部、紅海沿岸ノ地方ヲ云フ、域内ヲ、いちふと、ぬびや、及、あびーにやノ三部ニ分ツ、いちふとハ、ないる地方ノ北部ニシテ、ないる河ノ下流ニ在リ、國內ヲ、上、中、下ハ、三部ニ分ツ、

此國ハ、有名ノ舊國ニシテ、上古、ぐりいきハ、未、國ヲ爲サ、ミリシ頃、己ニ、文學、技藝ノ淵藪ト稱シ、富強ヲ極タリシガ、爾後、國運大ニ衰替シテ、今ハ、他國ノ保護ヲ受クルニ至レリ、國內、壯偉ナル古跡アリ、中ニ就キ、最、奇異ナルハ、金字塚、獅身像ノ如キ、是ナリ、域内、概、平坦ニシテ、沙石原野多ク、水利ニ乏シ、只、ないる河ハ、毎歲一次、漲溢スルヲ以テ、其兩岸ノ地ハ、極メテ肥沃ナリ、終年、降雨甚稀ニシテ、氣候溫熱ナリ、穀物、果實香

獅身像之圖



料綿花駱駝騾馬等ヲ産ス、ぬびやハいぢふとノ南ないる河ノ上流ニ位セル地方ヲ云ス、ないる河濱ノ地ハ沃土多シト雖其他ハ概沙磧ニシテ不毛ノ地トス、氣候ノ炎熱ナルいぢふとニ比スレバ更ニ甚シ、産

物ハ麻烟草甘蔗香水象牙等ナリ、あびにやハぬびやノ南ニ隣レル地方ニシテ、山岳域中ニ充塞シ、土地高低一ナラズ、此國土古昔ハ一強國ヲナセシガ、今ハ多クノ小邦ニ分裂ス、氣候炎熱ナリ、中ニ就キ、紅海ノ近傍ハ殊ニ酷シ、かいろうハ、いぢふとノ首府ニシテ、ないる河ノ東岸ニ在リ、人口三十六萬餘、本洲第一ノ大府ナリ、あれきさんどりやハ、いぢふと第一ノ海港ニシテ、人口八萬餘、互市甚盛ナリ、

ていぶすハ、今ハ、頽敗セル一府ニ過ギズト雖、上古ハ、宏壯ヲ極メタル大都城ニシテ、其墟趾、人ヲシテ驚愕セシム、十六萬餘人云フ、石造ノ王宮アリ、頗壯大ナリ、

第七課 ばるばり地方

ばるばりハ、亞非利加ノ北部、地中海ニ濱スル地方ノ総稱ニシテ、域内ヲもろつこ、あるぜりあ、ちゆにす、とりほりノ四部ニ分ツ、又、ふろざん、及ばるかアリ、概、とりほりニ隸ス

一帯ノ山嶺南方ニ連亘シテ、大沙漠ヲ限り、其熱氣ヲ遮ル、且、許多ノ河流、此嶺上ヨリ流レ出ヅルヲ以テ、土地潤澤、氣候溫和ニシテ、花卉繁茂ス、物産ハ、穀物、果實、及、各種ノ礦屬ニシテ、内地ハ、馬ヲ産スルニ名アリ、且、もろつこハ、其名頗著シ、此等ノ諸國ハ、隊ヲ爲シテ、沙漠ヲ越エ、歐洲ノ製造品ヲ齎シ、此國等ノ物産ト、貿易ヲ業トスルモノ多シ、
居民概、遊牧ノ蕃種ニシテ、風俗兇暴、近世ニ至ルマデ、專、海賊ヲ爲セリ、

此等ノ諸國ノ中、もろつこハ、獨立ノ帝國ニシテ、あるぜりあハ、佛國ニ隸ス、其他ハ、多クハ、とるこニ歸シ、或ハ、半屬國トナレリ、あるぜりあ、ちゆにす及、とりほりノ首府ハ、共ニ、地中海ノ濱ニ在リ、皆其國ト名ヲ同ジクス、又、もろつこニ、同名ノ府并ニふ江、いず等ノ都邑アリ、

第八課 東亞非利加

東亞非利加ハ、紅海ヨリ、印度洋ニ濱スル、地方ノ總稱ニシテ、ろまうりざんげはるもざんびくノ

三部ヨリ成ル、

もざんびくハ、葡萄牙ノ所領ニシテ、其他ノ二國ハ、多クノ部ニ分レ、各部ニ酋長アリ、人民ハ、黑種ニシテ、風俗暴戾、多クハ、遊牧ヲ事トシ、又、抄掠ヲナスモノアリ、ざんトばるハ、ざんトばる第一ノ都會ニシテ、其近海、同名ノ島中ニ在リ、

第九課 南亞非利加

南亞非利加ハ、もざんびくヨリ、喜望峯ニ至リ、北轉シテ、下ぎにあニ至ル、地方ノ總稱ニシテ、中ニ、

け江ふころにいなたる、かふらりや、及ほつてんとつと等ノ諸部ヲ有ス、

東南ハ、山脉連互シ、西北ハ、砂磧多ク、水泉少シ、其間、僅ニ膏腴ノ地アリテ、樹林叢茂シ、穀果繁生ス、け江ふころにいハ、本洲極南ノ地方ニシテ、氣候溫和、地味、葡萄、甘蔗、及麥等ニ適シ、又、牧畜ニ宜シ、なたる、及かつふるハ、共ニ、皆、英國ニ屬セリ、け江ふころにいノ南端ノ海角ヲ、喜望峯ト云フ、古來、東洋航海ノ針路ニシテ、其名世ニ高シ、ほつてんとちやハ、下ぎにあノ南ヨリ、け江ふこ

ろにいノ北ニ接スル地方ニシテ、土人ハ、黒種ノ野蠻ニシテ、人類中、最、下等ナルモノトス、け江ふたうんハ、け江ふころにいノ首府ニシテ、貿易昌盛ナル海港ナリ、

第十課 西亞非利加

西亞非利加ハ、本洲ノ西部、大西洋ニ濱スル地方ノ總稱ニシテ、ぎにあ、りべりあ、及せねがんびやノ三部ヨリ成ル、ぎにあハ、上下二部ニ分レ、上ぎにあハ、海岸各地ニ、英人、及蘭人ノ殖民地アリ、下ぎにあハ、概、葡國

ニ屬スト雖土蠻往々各地ニ部落ヲ爲セリ而シテリベリ安ハ米國ノ庇護ニ頼リ國ヲ建ツルヲ以テ特ニ共和政府ヲ設ク物産ハ金象牙木綿蔗糖等ナリ

第十一課 中亞非利加 本洲ノ内部すうだん及以ちねひあヲ總稱シテ中亞非利加ト云フ

東西二部ハ攢峰重嶺境上ニ屏列シ内地ハ人跡未到ラザル所多久境界分明ナラズ

居民ハ皆兇暴ニシテ各部互ニ相抄掠ス各部ノ

さはら沙漠隊商旅行之圖



林莽藪澤ニ猛獸及毒蟲多ク砂金鐵木綿藍烟草等ヲ産ス

第十二課 さはら

地方

さはらハばるばりの正南ニ在ル大沙漠ニシテ炎熱最酷ク水泉ニ乏シク草木ヲ生ゼズ然レドモ其間各

新撰地誌 卷之三
處ニ些少ノ沃土アリ、水草ニ富メリ、
内地ノ商旅、百十隊ヲ爲シ、多クノ糧ヲ齎シ、駱駝
ニ駕シテ、此間ヲ往還シ、時々暴風ニ遇ヒ、全隊ヲ没
スルニ至ル、

第十三課 亞非利加諸島

まだがすかるハ、印度洋中ノ一大島ニシテ、まで
いらう江るで、及かなりい諸島ハ、大西洋中、有名
ノ島嶼ナリ、
かなりいハ、西班牙ニ屬シ、までいらハ、葡萄牙ニ屬
シ、有名ノ葡萄酒ヲ産ス、

せんとへれなハ、大西洋中、僻遠ノ小島ナリト雖、
彼ノなほれれん一世ノ、此ニ竄セラレシヨリ、其
名世ニ顯ル、

たななりほハ、まだがすかるノ首府ニシテ、島ノ
中央ニアリ、國王ノ居城ナリ、

第十四課 附說

各國政體概、君主獨裁ニシテ、生殺ノ權盡君長ノ
手ニ歸ス、且疆域未確定セズ、濱海ノ地ハ、歐洲各
國ノ屬地ト爲リ、傍近ノ民皆、其令ヲ奉ズ、
本洲ノ北部ハ、上古いぢふと、かるていぢ等ノ國ア

リ其名世ニ知ラルト雖中部以南ハ嘗世ニ顯レ
 ズ久シク奇怪ノ説ヲ傳ヘシガ葡萄牙ノ船將は
 すこだがまノ喜望峰ヲ發見スルニ及ビ本洲沿
 海ノ地方亞米利加ト共ニ世ニ現ル軌近又英佛
 等ノ諸家相繼ギテ内地ヲ跋躋セルヲ以テ始メ
 テ其地理ヲ記スルヲ得ルニ至レリ

新撰地誌自一至四

新撰地誌自一至四

明治十九年五月三日 版權免許
 同 年 同 月 出 版
 卷一 明治二十年一月二十日 訂正再板御届
 卷二 明治二十年五月三十日 訂正再板御届
 卷三 明治二十年五月三十日 訂正再板御届

編纂人

東京府平民 岡村増太郎
東京神田區松永町
 十九番地

出版人

小 林 義 則
東京日本橋區本町四丁目
 十六番地

發兌

文 學 社
東京日本橋區本町四丁目
 十六番地



